

第3章 履修・カリキュラム

1. 修士課程・後期博士課程共通

1-1. 履修申告スケジュール

主な予定	方法	春学期	秋学期
シラバス・時間割確認	Web	3月10日～	9月4日～
履修申告期間	Web	4月8日12:30～4月14日11:00	10月2日12:30～10月8日11:00
履修申告科目確認	Web	4月14日13:00～	10月8日13:00～
履修申告修正期間	窓口	5月6日～5月7日	10月19日～10月20日
履修登録取消期間 (学期後半科目を除く)	Web	5月12日10:00～5月13日16:45	11月4日10:00～11月5日16:45
履修登録取消期間 (学期後半科目のみ)	Web	6月18日10:00～6月19日16:45	12月17日10:00～12月18日16:45

塾生サイト「【SFC】履修案内・講義要綱・時間割」：<https://www.students.keio.ac.jp/sfc/class/registration/>

※ 履修案内・講義要綱・時間割および履修申告に関する最新の情報は、塾生サイトにて周知されますので、随時確認してください。

1-2. 講義案内・シラバス・時間割の確認

履修申告を行うために必要な「登録番号」は、シラバスおよび時間割に掲載されています。登録番号が記載されていない科目については、塾生サイトに掲載される「時間割未記載科目 登録番号表」、「大学院アカデミックプロジェクト 登録番号表」で確認してください。

1-3. 履修申告（修士課程・博士課程共通） **学事Web システム**

SFC-SFS から「学事 Web システム」へログインし、各学期の期間内に必ず履修申告を行ってください。

SFC-SFS にログイン後、「学事 Web」をクリックし、「学事 Web システム」のボタンを押すと「学事 Web システム」にログインできます。メニューの「履修申告」をクリックすると、履修申告画面が開きます。

SFC-SFS の My 時間割に科目を登録するだけでは、履修申告をしたことにはなりません。必ず「学事 Web システム」にログインし、履修申告を行ってください。

塾生サイト「履修上の注意」：<https://www.students.keio.ac.jp/sfc/gsmg/class/registration/>

「学事 Web システム操作マニュアル」：<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/system/course-reg-manual.html>

- ※ 履修申告上の注意事項については、【本章 1-7. 履修申告上の注意事項】を確認してください。
- ※ 履修申告期間中は何度でも申告内容の修正ができます。期間内に余裕をもって申告してください。なお、毎日午前4時から1時間程度は定期メンテナンスのためシステムの稼働を停止します。期日までに所定の方法で履修申告をせず、休学・留学等の願い出もない場合は、修学の意志がないものとして、退学処分となります（大学院学則第161条）。
- ※ 科目登録終了後、すべての科目の<状態>欄が「登録済」となっていることを確認したうえで、必ず履修申告状況確認画面をプリントアウトして保管してください。

1-4. 履修申告科目確認 **学事Web システム**

履修申告時に保存した登録完了画面と、学事 Web システムの「登録済科目確認」画面を比較し、正しく申告が行われているかどうか必ず確認してください。申告内容が異なる場合や疑問点がある場合、また申告に不備がある場合は「履修申告修正期間」に、学生証と学事 Web システムの「登録済科目確認」画面の控えを持参の上、学事担当で確認してください（修正は学事担当窓口で行います）。不備があるにもかかわらず、修正が行われない場合は、学習指導の判断により修正、削除します。

1-5. 履修申告修正 **学事担当窓口**

履修申告修正期間には、次の履修科目の修正のみを行うことができます。

- ・分野の変更
- ・“自由科目”として履修した科目のうち、申告が許可されていない学部科目の削除
- ・「修士研究会」の追加・削除
- ・「アカデミックプロジェクト」の追加・削除または“自由科目”への変更
- ・「修士論文1」、「修士論文2」の追加・削除（2018年度以降入学者）
- ・「修士活動報告1」、「修士活動報告2」の追加・削除（2018年度以降入学者）
- ・「特別研究」の追加・削除
- ・「修士論文」の追加・削除（2017年度以前入学者）

学生証および学事 Web システムの「登録済科目確認」画面の控えを持参の上、学事担当窓口で所定の手続きを取ってください。代理人による修正も可能ですが、学事 Web システムの「登録済科目確認」画面の控え、または「履修申告科目確認表」（不備があり、送付された場合）と委任状が必要になります。代理人が間違えて修正した場合、本人が間違った場合

と同様に扱いますので、修正内容は代理人によく伝えて間違いのないよう気をつけてください。履修申告修正の手続きを学事 Web システムで行うことはできません。履修申告修正期間終了後、学事 Web システムの「登録済科目確認」画面にて修正申告した内容を必ず確認してください。この期間に確認を怠ったために生じた不利益については、大学側は一切責任を持ちません。履修申告修正期間経過後は確認が終了したものとみなします。

1-6. 履修登録取消 **学事Web システム**

履修登録取消期間には、次の履修科目と、他学部・他研究科設置科目で主学部・主研究科（科目とりまとめ学部・研究科）が取消し不可とした科目を除き、当該学期に履修申告した科目を取消することができます。

【政策・メディア研究科設置科目で履修登録取消ができない科目】

- ・ フィールドワーク関連科目（「フィールドワーク A/B/C/D」、「インターンシップ A/B」「グローバル・パートナーズ・ネットワークキング」、「グローバル・イシュー・プラクティス」）
- ・ 「環境デザイン・フィールド・ワークショップ」
- ・ 「環境デザイン特別演習 1」、「環境デザイン特別演習 2」、「環境デザイン特別演習 3」
- ・ 「先端フィールドワーク A/B/C/D」
- ・ 「サイバーリーダーシップ」

取消した科目の成績はつきません。また、新たな科目の追加はできません。

通年科目およびセット科目は、春学期科目・春学期前半科目の履修登録取消期間に手続きをしてください。

SFC-SFS にログイン後、学事 Web システムの「履修登録取消申告」画面から取消してください。

1-7. 履修申告上の注意事項

- ・ 課程修了のために必要な単位を修得済の場合でも、修学の意志を示すために必ず各学期 1 科目以上は申告してください（当該学期に休学・留学等を願い出ている者を除く）。
- ・ 履修申告していない科目を受講しても単位は取得できません。
- ・ 時間割等が変更されることがありますので、随時「塾生サイト」にて最新の情報を確認してください。
- ・ 都心サテライト教室や他キャンパス科目を履修する場合、キャンパス間の移動時間を考慮して他科目の履修申告を行ってください。（必ず 1 時限分以上の間隔をあけて履修してください）
- ・ 学部大学院併設科目で、履修者制限を設けている科目は、教員から履修を許可された学生のみ履修可能です。
- ・ 履修者制限を設けている科目の履修を希望する新入生は、初回授業に必ず出席し、担当教員から履修の許可をもらってください。（学期後半科目については、履修申告期間内に担当教員に相談し、履修の許可をもらってください）
- ・ TTCK で開講されている科目は、事前に許可された学生のみ履修可能です。
- ・ 休校期間中の科目の履修を許可されたものは、必ず翌学期に当該科目を履修申告してください（履修登録取消はできません）。

(1) B 欄分野科目について

- ・ 【本章 2-5. 分野（修士）】 【本章 3-2. 分野（博士）】にて、履修科目の分野を確認の上、必要に応じて B 欄分野を正しく登録してください。
- ・ 学部科目は“自由科目”としてのみ登録が可能です（B 欄分野 99 を選択してください）。
- ・ 「日本語ベーシック」、「日本語インテンシブ」、「日本語ベーシック（演習）」、「アカデミック・ライティング特別演習」は、“自由科目”です（B 欄分野 99 を選択してください）。

(2) 他研究科設置科目履修について

政策・メディア研究科委員会が研究上有益と認めた場合、慶應義塾内の他研究科に設置された科目の一部が、在学中 10 単位を上限に政策・メディア研究科修士課程の修了要件に必要な単位として認められることがあります。ただし、他研究科所属学生の履修を制限している科目もありますので、よく確認して履修申告をしてください。

「他研究科設置科目の履修」：<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/registration/other-faculties.html>

- ・ 原則として教職に関する科目を含め、全ての他研究科・諸研究所等設置科目を春学期に履修申告する必要があります。三田キャンパスの一部科目、理工学研究科設置科目（教職課程科目は除く）・KBS・SDM・KMD 設置科目は秋学期の履修申告期間に履修申告が可能です。
- ・ 在籍最終学期に経営管理研究科の 3 学期開講科目を履修することはできません。

(3) 同一科目について

担当者が異なる場合も科目名が同じものは同一科目となり、進級・修了にかかわる科目としては、複数回は履修できません（ただし、プロジェクト科目および研究指導科目、特別研究は除きます）。

(4) e-科目履修について

一部の科目は、インターネット上に公開された授業ビデオを視聴し、受講・単位取得する「e-科目」として履修することも可能です。e-科目の履修を希望する場合は、必ず塾生サイトを確認し、締切日時までに「Web 科目出願ウェブサイト」から Web 科目出願をしてください。（e-科目を履修する場合は、履修申告に先立ち「Web 科目出願」を行い、履修許可を得る必要があります。）「Web 科目出願」を行っただけでは、履修申告をしたことにはなりません。履修を許可された科目は、「学事 Web システム」にログインし、履修申告してください。

開講科目および登録番号については、「塾生サイト」に掲載される「時間割未記載科目 登録番号表」にて確認ください。

「Web 科目出願ウェブサイト」：<http://gc.sfc.keio.ac.jp/e-student/e-course-apply/login.cgi>

	春学期	秋学期
Web 科目出願締切	4月2日～4月3日 22:00	9月17日～9月18日 22:00
履修申告	4月8日 12:30～4月14日 11:00	10月2日 12:30～10月8日 11:00

2. 修士課程

2-1. カリキュラム構成

修士課程には、研究支援科目・プログラム科目・プロジェクト科目・特設科目・研究指導科目（2018年度より）・修士論文などの科目群が設けられ、これらの学習結果に基づいて修士論文を作成することになります。それぞれの科目に付けられている英数字は科目ソート番号で、塾生サイトに掲載されている講義案内はこの数字の順番に掲載されています。

研究支援科目	50000 番台	研究指導科目	H0001
プログラム科目	60000 番台	修士論文	I 0001～(80001 番台)
プロジェクト科目	70000 番台	特設科目	95000 番台
自由科目	97000 番台	() 内は 2017 年度以前の科目ソート番号	

2-2. 修士課程設置科目

塾生サイト「【SFC】履修案内・講義要綱・時間割」：<https://www.students.keio.ac.jp/sfc/class/registration/>

原則として2単位科目は、1週間1コマ（90分）実施され、4単位科目は1週間2コマ（180分）実施されます。単位数については、シラバスにて確認してください。科目の開講状況については、「塾生サイト」の時間割表またはシラバスにて確認してください。履修申告時の登録番号についても、時間割表またはシラバスにて確認してください。

(1) 研究支援科目

研究支援科目は、概念系、先端研究系の2系列から構成されます。

(2) プログラム科目

各プログラムを構成する専門科目および書くプログラムに関連する主要な課題を明らかにし、これらの課題に対するアプローチ方法を示すことによって、各プログラムを支援することによって、各プログラムを支援していく科目です。

(3) プログラム科目一併設

すべての科目が、総合政策学部・環境情報学部と併設されています。

(4) 特設科目

各科目を理解するうえで必要と思われる関連科目、演習的科目、萌芽的研究のためのフロンティア科目、寄附講座に関連する特別科目です。

(5) プロジェクト科目

研究活動の中心となるのは「アカデミックプロジェクト」です。「アカデミックプロジェクト」は、研究上のテーマや 이슈を共有する複数の教員から、最先端の研究対象について研究指導を受けることができます。

- プロジェクト科目の担当者、履修申告時の登録番号については、塾生サイトに掲載される「大学院プロジェクト科目登録番号表」を確認してください。
- 初回集合日時・場所については、塾生サイト「履修案内・講義要綱・時間割」にて周知します。（初回以降の集合場所・実施場所、実施時間については、アカデミックプロジェクトのリーダーに確認してください。）

(6) 修士論文

修士論文科目の履修申告時の登録番号については、「塾生サイト」に掲載される「時間割未記載科目登録番号表」を確認してください。

2018年度以降入学者	修士論文1 (1単位)	修士論文2 (1単位)
	修士活動報告1 (1単位)	修士活動報告2 (1単位)
2017年度以前入学者	修士論文 (2単位)	

(7) 研究指導科目

「修士研究会」(2単位)

修士課程の主査（指導教員）が個別あるいは共同で学生の研究を指導する科目で、指導教員（政策・メディア研究科委員に限る）ごとに科目が設定されています。指導教員が担当する修士研究会を履修してください。履修申告時の登録番号については、「塾生サイト」に掲載される「時間割未記載科目登録番号表」を確認してください。

(8) 休校期間中のフィールドワーク関連活動について（フィールドワーク、インターンシップなど）

大学院での研究活動において、より実践的で専門的な知の形を構築するためには、実際に現地や現場に赴き、データ収集や実地調査、技術の検証・実験などを行うことも必要です。学内での研究活動と並行して、その対象を社会や海外に広げ、よりグローバルな視点を加えることで、研究活動はより深厚なものとなるでしょう。

SFCでは、個人の研究テーマに関する国内外での実地調査や研究活動を行う「フィールドワーク」や、研究内容の社会的な実践を試みる上でも有用な「インターンシップ」などを推奨しています。これらの活動については、以下の科目で申請が可能なケースもあります。研究活動の一環として、また、自分自身のキャリアアップのため、ぜひ積極的に取り入れてください。

- ・ フィールドワーク関連科目（プログラム科目：2単位）

フィールドワーク A/B/C/D	インターンシップ A/B
グローバル・パートナーズ・ネットワーキング	グローバル・イシュー・プラクティス

- ・ フィールドワークやインターンシップを単位化するためには、事前に計画書等を提出し、フィールドワークやインターンシップを実施後の履修申告期間に「フィールドワーク関連科目」の履修登録をする必要があります。申請期間などの詳細ならびにガイドラインは、塾生サイト「フィールドワークの科目申請」で必ず確認してください。
「フィールドワークの科目申請」：<https://www.students.keio.ac.jp/sfc/gsmg/class/fieldwork/>
- ・ フィールドワーク関連科目、「環境デザイン・フィールド・ワークショップ」、「環境デザイン特別演習1」、「環境デザイン特別演習2」、「環境デザイン特別演習3」のいずれかについて、休校期間中に実施を許可された方は、次学期に必ず履修してください。（これらの科目は履修登録取消できません。）
- ・ 海外で開講する授業科目（フィールドワーク関連科目・「環境デザイン・フィールド・ワークショップ」等）に参加する場合、大学が指定する日本エマージェンシーアシスタンス株式会社の危機管理サービス（Overseas Students Safety Management Assistance）および大学が定めた基準を満たす海外旅行保険に加入することを義務付けています。詳細は、塾生サイト「危機管理支援サービス・海外旅行保険」をご確認ください。
「危機管理支援サービス」：<https://www.students.keio.ac.jp/sfc/pmei/procedure/overseas-assistance/>

2-3. 修士課程履修申告の注意事項（2018年度以降入学者）

(1) 修士論文の履修申告について

- ・ 中間発表を実施する学期（修了を予定している学期の1学期前）は、必ず「修士論文1（1単位）」を履修申告してください。ただし、非修論オプションを選択する場合は、「修士活動報告1（1単位）」を履修してください。
- ・ 修士論文を執筆する学期（在籍最終学期）は、必ず「修士論文2（1単位）」を履修申告してください。ただし、非修論オプションを選択している場合は、「修士活動報告2（1単位）」を履修申告してください。
- ・ 「修士論文2（1単位）」および「修士活動報告2（1単位）」は、前学期までに「修士論文1（1単位）」または「修士活動報告1（1単位）」に合格している場合のみ履修可能です。
- ・ 修了を延期する場合、学事担当窓口にて「修了延期申請書」（所定用紙）に修了予定時期を記入の上、提出してください。申請は学期毎に行う必要があります。
- ・ 4年一貫プログラムなど、1年間で修士課程を修了予定の学生は、修士在籍1学期目に「修士論文1（1単位）」を履修してください。修士在籍2学期目には「修士論文2（1単位）」を履修してください。（早期学位取得を希望される場合は、事前に申請が必要です。【第4章】を参照してください。）

(2) 修士研究会の履修申告について

- ・ 「修士研究会（2単位）」を履修する場合は、【18】と表示のある登録番号で履修申告してください。
- ・ 「修士研究会（2単位）」は毎学期1つまで履修できます。指導教員の「修士研究会（2単位）」を履修してください。
- ・ 「修士論文1（1単位）」「修士論文2（1単位）」「修士活動報告1（1単位）」「修士活動報告2（1単位）」を履修する学期は、指導教員の「修士研究会（2単位）」を必ず履修してください。

(3) プロジェクト科目の履修申告について

プロジェクト科目（プロジェクト（2018年度まで）、アカデミックプロジェクト）と研究指導科目（修士研究会）は、合計16単位を上限に、修了に必要な30単位に算入されます。

2-4. 修士課程履修申告の注意事項（2017年度以前入学者）

(1) 修士論文の履修申告について

- ・ 修士論文を執筆する学期（在籍最終学期）は、必ず「修士論文（2単位）」を履修申告してください。ただし、非修論オプションを選択している場合は、「修士論文（2単位）」の履修申告は不要です。
- ・ 修了を延期する場合、A館1階事務室学事担当窓口にて「修了延期申請書」（所定用紙）に修了予定時期を記入の上、提出してください。申請は学期毎に行う必要があります。

(2) 修士研究会の履修申告について

- ・ 「修士研究会（2単位）」を履修する場合は、【01】と表示のある登録番号で履修申告してください。
- ・ 「修士研究会（2単位）」は毎学期1つまで履修できます。指導教員の「修士研究会（2単位）」を履修してください。

(3) プロジェクト科目の履修申告について

プロジェクト科目は学期に4単位まで修了に必要な単位として履修可能です。5つ以上履修する場合は、超過分は自由科目として履修申告してください。

2-5. 分野

(1) 2018 年度以降入学者

履修申告欄は A 欄と B 欄によって構成されています。通常は A 欄のまま履修申告をしますが、「塾内他研究科の科目」「他大学研究科の科目」「自由科目」を登録する場合は、履修申告時に A 欄を B 欄に変更した上で、B 欄分野を指定する必要があります。

分野 (分野番号)		B 欄分野
研究支援科目 (01-01-01)	概念構築	概念構築 (GR)、概念構築 (フィールドワーク論)、概念構築 (ヒューマンセキュリティ)、概念構築 (戦略と制度設計)、概念構築 (CB)、概念構築 (EG1)、概念構築 (CI)、概念構築 (BI)、概念構築 (コミュニケーション)
	先端研究	先端研究 (GR)、先端研究 (パブリックポリシー)、先端研究 (ケースメソッド)、先端研究 (CB)、先端研究 (EG1)、先端研究 (EG2)、先端研究 (CI)、先端研究 (BI)、先端研究ワークショップ (XD1)、先端研究ワークショップ (XD2)、先端研究ワークショップ (XD3)、先端研究ワークショップ (XD4)、先端研究 (言語と文化)、先端研究 (アジア途上地域)
プログラム科目 (01-02-01)	グローバル・ガバナンス研究 (基礎)、グローバル・ガバナンス研究 (グローバル・ガバナンスの視点)、グローバル・ガバナンス研究 (グローバリゼーションと地域変容)、グローバル・イシュー・プラクティス、グローバル・パートナーズ・ネットワーク、地域戦略研究 (東アジア)、地域戦略研究 (北東アジア)、地域戦略研究 (中華圏)、地域戦略研究 (イスラーム圏)、地域戦略研究 (米州)、地域戦略研究 (欧州)、ポリシーマネジメント (開発とヒューマンセキュリティ)、言語教育デザイン論、IT と学習環境、トランスカルチャー論、ファイナンス理論、リスクの統計分析、組織評価論、日本のビジネス、ネットワークと情報経済、経営戦略特論、ポリシーマネジメント (政策形成とソーシャルイノベーション)、ガバナンス論、ソーシャルビジネスと評価、地方政府のガバナンス、IT ビジネスとグローバル経営、IT ビジネスと経営組織の革新、行政組織の経営、地域情報化論、ソーシャルファイナンス、キャリア開発演習、テクノロジーマネジメント論、HCI 設計論、認知意味論、スポーツ・スキルサイエンス論、心理情報解析特論、建設マネジメント論、都市政策、デジタルアース論、応用環境デザイン (建築とランドスケープのデザイン)、応用環境デザイン (都市環境のデザイン)、環境の変遷、環境デザイン・フィールド・ワークショップ、環境空間論、建築環境制御論、建築技術論、建築構成論、構造のデザイン、都市デザイン論、エネルギー政策分析、ランドスケープデザイン、環境の力学、都市空間の構成、空間モデリング特論、デザインセオリー、システムソフトウェア、マルチメディア知識ベース構築論、情報セキュリティ論、ユビキタスコンピューティングシステム論、自律分散協調システム論、先端分子細胞生物学、ゲノム工学実習、ゲノムデザイン学、数理生物学、環境フィールドワーク、ソーシャルビジネスの商品開発とプロモーション、社会起業とイノベーション、社会イノベーションとデザイン、ファミリービジネス論、低炭素社会設計論、環境ビジネスデザイン論、低炭素社会デザイン演習 2、調査研究設計論、次世代 WEB プラットフォーム論、環境測定演習、応用環境デザイン (グリーン・アーキテクチャ・デザイン)、個益公益のデザイン 1、個益公益のデザイン 2、生物多様性科学特論、スペキュラティブ・デザイン、ヘルスケアシステムデザイン概論	—
プログラム (併設) 科目 (01-02-02)	国際関係論、開発とローカリズム、リスクと保険、公共選択論、ベンチャー経営論、社会保障政策 (医療・介護)、社会保障政策 (年金・労働・福祉)、ゲーム理論、ネットワーク産業論、ランドスケープエコロジー、地域計画実践論、地球環境技術論、地球システム、エネルギー環境論、地球環境政策、メタボローム解析実習、プロテオーム解析実習、社会起業論、ソーシャルマーケティング、パブリックマネジメント、音楽の進化、日本の諸音楽	—
入学前取得単位認定科目 (01-02-03)	※総合政策学部・環境情報学部在籍時に修得した先取り科目 (2007 年度以降修得) が該当します。	—
プロジェクト科目 (01-03-02)	プロジェクト (※2018 年度まで)、アカデミックプロジェクト <各アカデミックプロジェクトのテーマは以下のとおり> グリーンインフラストラクチャーと生態系サービス、イスラーム・プラクティス、気候変動・災害リスクガバナンスシステムと持続可能な開発、公共政策、経験の学、多言語多文化共生社会、外国語教育デザイン、「身体化デザイン」プログラム、xSDG、ノーベル・コンピューティング：AI と脳科学、ヒューマンサービスとコミュニティ、NEURO、プラットフォームとイノベーション、発達と学習の認知メカニズム、スポーツサイエンス、言語と思考のアーキテクチャ、Mathematicis for AI、科学技術コミュニケーション、経営学のフロンティア、音楽、リーガル・プラクティス、メディアとコミュニケーションの法政策、奎の構造と意匠、社会的共有価値の創造、生活世界と公共性、知的都市創造、第二言語習得と外国語教育の科学、ソフトウェアシステム、アジアとアフリカをつなぐイニシアティブ、地域研究から見るグローバル・ガバナンス、HCI Remixed、現代社会・文化への人文的アプローチ、こころの健康・臨床心理プロジェクト、コリアン・スタディー、チャイナ・パースペクティブ、学際日本研究、モバイル・メソッド (プラクティス)、モバイル・メソッド (セオリー)、スマートモビリティ (技術)、スマートモビリティ (社会)、先端生命科学 A、先端生命科学 B、ネットワークコミュニティ 1、ネットワークコミュニティ 2、安全保障 1、安全保障 2、Internet Technology、Internet Civilization、グローバルガバナンスとリージョナルストラテジー (グローバル)、グローバルガバナンスとリージョナルストラテジー (リージョナル)、ラディカル・スクール・デザイン、知覚と心理、生と命の営み そのモノとコト	—
特設科目 (01-04-01)	グローバル・ガバナンス研究 (応用研究)、インターネット時代のセキュリティ管理、環境デザイン特別演習 1、環境デザイン特別演習 2、環境デザイン特別演習 3、脊椎動物のボディプラン、グローバル環境政策特論、大規模環境システム構築法、環境情報システム構築法、環境科学技術・政策特論、ヘルスコミュニケーション、サイバーセキュリティ・ケーススタディ、ネットワークセキュリティ、暗号とデータセキュリティ、国際サイバーセキュリティ、ソフトウェアセキュリティ、プライバシーと個人情報管理、情報リスク管理、修士研究会、サイバーリーダーシップ、e-Sports 論、情報セキュリティの法と政策、クリティカル・メイキング、不動産デザイン、不動産デザイン (ミニスタジオ)	—
研究指導科目 (01-05-01)	修士研究会	—
修士論文 1 (01-06-01)	修士論文 1	—
修士論文 2 (01-06-02)	修士論文 2	—
修士活動報告 1 (01-06-03)	修士活動報告 1	—
修士活動報告 2 (01-06-04)	修士活動報告 2	—
塾内他研究科の科目 (01-07-01)	—	11
他大学研究科の科目 (01-08-01)	—	22
自由科目 (09-01-01) ※修了単位には含まれません	日本語ベーシック、日本語インテンシブ、日本語ベーシック (演習)、アカデミック・ライティング特別演習 ※日本語関連科目の詳細はシラバスを確認すること。	99

(2) 2017年度までの入学者

履修申告欄はA欄とB欄によって構成されています。通常はA欄のまま履修申告をしますが、「塾内他研究科の科目」「他大学研究科の科目」「自由科目」を登録する場合は、履修申告時にA欄をB欄に変更した上で、B欄分野を指定する必要があります

分野 (分野番号)			B欄分野
プログラム科目 (01-02-01)		グローバル・ガバナンス研究 (基礎)、グローバル・ガバナンス研究 (グローバル・ガバナンスの視点)、グローバル・ガバナンス研究 (グローバリゼーションと地域変容)、グローバル・イシュー・プラクティス、グローバル・パートナーズ・ネットワーク、地域戦略研究 (東アジア)、地域戦略研究 (北東アジア)、地域戦略研究 (中華圏)、地域戦略研究 (イスラーム圏)、地域戦略研究 (米州)、地域戦略研究 (欧州)、ポリシーマネジメント (開発とヒューマンセキュリティ)、言語教育デザイン論、ITと学習環境、トランスカルチャー論、ファイナンス理論、リスクの統計分析、組織評価論、日本のビジネス、ネットワークと情報経済、経営戦略特論、ポリシーマネジメント (政策形成とソーシャルイノベーション)、ガバナンス論、ソーシャルビジネスと評価、地方政府のガバナンス、ITビジネスとグローバル経営、ITビジネスと経営組織の革新、行政組織の経営、地域情報化論、ソーシャルファイナンス、キャリア開発演習、テクノロジーマネジメント論、HCI設計論、認知意味論、スポーツ・スキルサイエンス論、心理情報解析特論、建設マネジメント論、都市政策、デジタルアース論、応用環境デザイン (建築とランドスケープのデザイン)、応用環境デザイン (都市環境のデザイン)、環境の変遷、環境デザイン・フィールド・ワークショップ、環境空間論、建築環境制御論、建築技術論、建築構成論、構造のデザイン、都市デザイン論、エネルギー政策分析、ランドスケープデザイン、環境の力学、都市空間の構成、空間モデリング特論、デザインセオリー、システムソフトウェア、マルチメディア知識ベース構築論、情報セキュリティ論、ユビキタスコンピューティングシステム論、自律分散協調システム論、先端分子細胞生物学、ゲノム工学実習、ゲノムデザイン学、数理生物学、環境フィールドワーク、ソーシャルビジネスの商品開発とプロモーション、社会起業とイノベーション、社会イノベーションとデザイン、ファミリービジネス論、低炭素社会設計論、環境ビジネスデザイン論、低炭素社会デザイン演習2、調査研究設計論、次世代WEBプラットフォーム論、環境測定演習、応用環境デザイン (グリーン・アーキテクチャ・デザイン)、個益公益のデザイン1、個益公益のデザイン2、生物多様性科学特論、スペキュラティブ・デザイン、ヘルスケアシステムデザイン概論	—
プログラム (併設) 科目 (01-02-02)		国際関係論、開発とローカリズム、リスクと保険、公共選択論、ベンチャー経営論、社会保障政策 (医療・介護)、社会保障政策 (年金・労働・福祉)、ゲーム理論、ネットワーク産業論、ランドスケープエコロジー、地域計画実践論、地球環境技術論、地球システム、エネルギー環境論、地球環境政策、メタボローム解析実習、プロテオーム解析実習、社会起業論、ソーシャルマーケティング、パブリックマネジメント、音楽の進化、日本の諸音楽	—
入学前取得単位認定科目 (01-02-03)		※総合政策学部・環境情報学部在籍時に修得した先取り科目 (2007年度以降修得) が該当します。	—
研究支援科目 (01-03-01)	概念構築	概念構築 (GR)、概念構築 (フィールドワーク論)、概念構築 (ヒューマンセキュリティ)、概念構築 (戦略と制度設計)、概念構築 (CB)、概念構築 (EG1)、概念構築 (CI)、概念構築 (BI)、概念構築 (コミュニケーション)	—
	先端研究	先端研究 (GR)、先端研究 (パブリックポリシー)、先端研究 (ケースメソッド)、先端研究 (CB)、先端研究 (EG1)、先端研究 (EG2)、先端研究 (CI)、先端研究 (BI)、先端研究ワークショップ (XD1)、先端研究ワークショップ (XD2)、先端研究ワークショップ (XD3)、先端研究ワークショップ (XD4)、先端研究 (言語と文化)、先端研究 (アジア途上地域)	
研究領域科目 (01-04-01)		—	—
特設科目 (01-05-01)		グローバル・ガバナンス研究 (応用研究)、インターネット時代のセキュリティ管理、環境デザイン特別演習1、環境デザイン特別演習2、環境デザイン特別演習3、脊椎動物のボディプラン、グローバル環境政策特論、大規模環境システム構築法、環境情報システム構築法、環境科学技術・政策特論、ヘルスコミュニケーション、サイバーセキュリティ・ケーススタディ、ネットワークセキュリティ、暗号とデータセキュリティ、国際サイバーセキュリティ、ソフトウェアセキュリティ、プライバシーと個人情報管理、情報リスク管理、修士研究会、サイバーリーダーシップ、e-Sports論、情報セキュリティの法と政策、クリティカル・メイキング、不動産デザイン、不動産デザイン (ミニスタジオ)	—
入学前取得単位認定科目 (01-04-02)		※総合政策学部・環境情報学部在籍時に修得した先取り科目 (2006年度以前修得) が該当します。	—
プロジェクト科目 (01-06-01)		プロジェクト (※2018年度まで)、アカデミックプロジェクト <各アカデミックプロジェクトのテーマは以下のとおり> グリーンインフラストラクチャーと生態系サービス、イスラーム・プラクティス、気候変動・災害リスクガバナンスシステムと持続可能な開発、公共政策、経験の学、多言語多文化共生社会、外国語教育デザイン、「身体化デザイン」プログラム、xSDG、ノーベル・コンピューティング: AIと脳科学、ヒューマンサービスとコミュニティ、NEURO、プラットフォームとイノベーション、発達と学習の認知メカニズム、スポーツサイエンス、言語と思考のアーキテクチャ、Mathematics for AI、科学技術コミュニケーション、経営学のフロンティア、音楽、リーガル・プラクティス、メディアとコミュニケーションの法政策、空の構造と意匠、社会的共有価値の創造、生活世界と公共性、知的都市創造、第二言語習得と外国語教育の科学、ソフトウェアシステム、アジアとアフリカをつなぐイニシアティブ、地域研究から見るグローバル・ガバナンス、HCI Remixed、現代社会・文化への人文的アプローチ、こころの健康・臨床心理プロジェクト、コリアン・スタディー、チャイナ・パースペクティブ、学際日本研究、モバイル・メソッド (プラクティス)、モバイル・メソッド (セオリー)、スマートモビリティ (技術)、スマートモビリティ (社会)、先端生命科学A、先端生命科学B、ネットワークコミュニティ1、ネットワークコミュニティ2、安全保障1、安全保障2、Internet Technology、Internet Civilization、グローバルガバナンスとリージョナルストラテジー (グローバル)、グローバルガバナンスとリージョナルストラテジー (リージョナル)、ラディカル・スクール・デザイン、知覚と心理、生と命の営み そのモノとコト	—
塾内他研究科の科目 (01-07-01)		—	11
他大学研究科の科目 (01-08-01)		—	22
修士論文 (01-09-01)		修士論文	—
自由科目 (09-01-01) ※修了単位には含まれません		日本語ベーシック、日本語インテンシブ、日本語ベーシック (演習)、アカデミック・ライティング特別演習 ※日本語関連科目の詳細はシラバスを確認すること。	99

3. 後期博士課程

3-1. 博士課程設置科目と履修申告の注意事項

塾生サイト「【SFC】履修案内・講義要綱・時間割」：<https://www.students.keio.ac.jp/sfc/class/registration/>

(1) 特別研究

- 主査の「特別研究」を毎学期必ず履修申告してください。主査が留学・特別研究期間中の場合は、主査と相談の上、副査の「特別研究」を履修申告してください。課程修了のために必要な単位を修得済の場合でも、必ず「特別研究」を履修申告してください。
- 「特別研究」の登録番号は、「塾生サイト」に掲載される「時間割未記載科目 登録番号表」を確認してください。

(2) 特設科目

- 各科目の単位数は括弧内の通りです。フィールドワークを単位化するためには事前に計画書の提出が必要です。詳細は学事担当にお問い合わせください。（博士課程教育リーディングプログラムの学生のみ対象）

先端フィールドワーク A (8)	先端フィールドワーク B (4)
先端フィールドワーク C (4)	先端フィールドワーク D (6)

- 「特別研究」および「先端フィールドワーク A/B/C/D」以外の科目は全て“自由科目”として申告してください（B欄分野 99 を選択してください）。

3-2. 分野

履修申告欄は A 欄と B 欄によって構成されています。通常は A 欄のまま履修申告をしますが、「自由科目」を登録する場合は、履修申告時に A 欄を B 欄に変更した上で、B 欄分野を指定する必要があります。

分野 (分野番号)		B 欄分野
特別研究 (02-01-01)	特別研究	—
特設科目 (02-05-01)	先端フィールドワーク A、先端フィールドワーク B、先端フィールドワーク C、 先端フィールドワーク D	—
自由科目 (09-01-01) ※修了単位には含まれません	—	99

4. 休講・補講

止むを得ず授業が休講となる場合（代替講義日を含む）は、原則として補講を実施することになっており、土曜日あるいは指定の「補講日」に実施されます。休講・補講情報は、SFC-SFS にログインし学事 Web システムまたは、教育支援システムの「学生時間割」から確認してください。

5. 試験・レポート・成績等

(1) 定期試験

定期試験は 2 学期制・4 学期制の各学期末に行われます。

試験の時間割や注意事項は、塾生サイトおよび教育支援システムの「試験時間割」から確認できます。試験実施の曜日、時間、教室などは平常の授業と異なる場合がありますので注意してください。

定期試験を受験する際は学生証を必ず携帯し提示してください。試験当日に万が一学生証を携帯しなかった場合は、学事担当窓口で必ず仮学生証（発行手数料 500 円、発行当日限り全キャンパスで有効、メディアセンター入館も可）の交付を受けてください。学生証または仮学生証を携帯せずに試験教室に入室することは一切認められません。仮学生証発行の手続きにより、試験教室への入室が遅れても試験時間の延長はありません。

試験問題の配布後は、試験終了までいかなる理由であっても教室から退室することはできません。遅刻は無制限に認められていますが、遅刻して受験した場合、いかなる理由であっても試験時間の延長は認められません。無断で途中退室した場合は、不正行為（当該学期の履修科目は全て「D」）とみなされます。

(2) 追加試験

病気などやむを得ない理由で定期試験を受けられなかった者に対して行われる試験です。申請期間や手続き方法については塾生サイトでお知らせします。受験料は、1 科目 2,000 円です。定期試験期間以外に試験が行われた科目、レポートや平常点により採点される科目の追加試験は行いません。

他キャンパス等設置科目の追加試験は、学事担当窓口で申請条件等を確認したうえで、当該科目設置キャンパスの学生部・学事課で申し込んでください。他キャンパスの追加試験申込期間は、SFC とは異なりますので注意してください。

<申請が認められる理由>

- ・ 病気・けが（要診断書—当該科目の試験日が含まれているもの）
- ・ 電車の遅延—原則として通学経路に限る（要遅延証明書）* 受験料不要

なお、大規模な公共交通機関の遅延に伴い、試験開始時間を遅らせる場合もあるので、まず、受験の努力

をしてください

- ・ 3親等以内の葬式（要会葬礼状等）＊法事、結婚式は不可
- ・ 他キャンパスの定期試験科目との重複（他キャンパスの定期試験を優先し、総合政策学部・環境情報学部設置科目は、追加試験を申し込んでください）＊受験料不要
- ・ 最終学年の就職活動（採用選考の一環であるものに限る）に関しては、事前に学事担当に相談してください
- ・ その他、学習指導がやむを得ないと判断したもの

※アルバイト、ボランティア活動、各種大会出場などは追加試験許可の理由としては認められません。

(3) 不正行為

試験、レポートにおいて不正行為があった場合、教授会の定めるところにより厳しく処分され、場合によっては実名による掲示を行います。また、当該学期、全科目の単位の取得を認めないことがあります。あらゆる試験（授業内試験・小テスト等も含む）、あらゆるレポートについても同等の処分を行うことがあります。厳粛な態度で臨んでください。不正と紛らわしい行為も厳に慎んでください。

(4) レポート

レポートの作成にあたっては、定期試験と同様に不正な行為があってはなりませんし、その場合には厳しく処分されます。（期末レポートの場合は当該学期の履修科目は全てDとなることがあり、あらゆるレポートについても同等の処分を行うことがあります。）また、断りなしに他人の成果を記載することは、不正行為にあたります。このような不正行為を避けるためには、正しく参考文献や資料を明記しなければなりません。

レポート課題の提出方法については各担当教員の指示に従ってください。

(5) 成績について

① 成績通知

学業成績表は、春・秋各学期終了後（9月5日、3月10日）に本人宛に郵送します。いかなる理由があっても再発行できませんので、取り扱いには十分注意してください。SFC-SFSにログインすれば、keio.jpのIDとパスワードのみで学業成績表を閲覧できます。

各学期前半科目は、春学期は6月中旬、秋学期は12月中旬にWeb閲覧のみで公開予定です。

成績証明書に取得した科目の成績が記載されるのは、翌学期以降となります。

② 成績質問制度

成績評語に対して確固たる根拠をもって問い合わせる場合は、各学業成績発表後の所定期間内にSFC学事担当窓口申し出てください。この制度を利用することなく担当教員に直接質問することはできません。詳細については、学業成績表とともに通知します。

③ 成績評価

学業成績の評価は、S・A・B・C・Dの5段階で示されます。S・A・B・Cは合格、Dは不合格です。科目によっては、P/Fの評語を設け、Pを合格、Fを不合格とする場合があります。（後期博士課程設置科目「特別研究」はP/Fの評語を使用しています。）海外留学など留学先の大学で取得した単位を認定した授業科目を、G（認定）とする場合があります。

・ 2016年度以前の履修科目の成績評価

2016年度以前の履修科目に対する学業成績の評語は、A・B・C・Dの4段階とし、A・B・Cを合格、Dを不合格とします。科目によっては、P/Fの評語を設け、Pを合格、Fを不合格とする場合があります。（後期博士課程設置科目「特別研究」はP/Fの評語を使用しています。）海外留学など留学先の大学で取得した単位を認定した授業科目を、G（認定）とする場合があります。

(6) GPA (Grade Point Average) ※2017年度以降入学者対象

GPAは成績を数値で表したものです。履修科目ごとの成績評語をGP (Grade Point) に換算し、その平均を算出します。

GPAの計算方法は以下を参照ください。

GPAには、当該学期における「学期GPA」と在学中の全期間における「累積GPA」の二種類があります。学業成績表には学期GPAと累積GPAが記載され、成績証明書には累積GPAが記載されます。

【★計算方法】GP (Grade Point) : S : 4.0 A : 3.0 B : 2.0 C : 1.0 D : 0.0

$$(S \text{ の単位数}) \times 4 + (A \text{ の単位数}) \times 3 + (B \text{ の単位数}) \times 2 + (C \text{ の単位数}) \times 1 + (D \text{ の単位数}) \times 0$$

S A B C D の合計単位数

※評語がP, F, Gの科目、自由科目は含めない。小数点第3位を四捨五入。

(7) 不合格科目 (評語が D・F の科目)

2017 年度以降入学者は、不合格科目も含み成績証明書にすべての履修科目が記載されます。

2016 年度以前入学者は、これまでどおり不合格科目は記載されません。

6. 資格取得

6-1. 教職課程

教員免許を取得しようと考えている学生は、「教職課程」を履修しなければなりません。慶應義塾大学では、三田キャンパスにある「教職課程センター」が、教職課程履修者の指導に当たっています。

教職課程センターでは、毎年、年度初めに教職課程の履修を希望する学生を対象に、「教職課程ガイダンス」を実施しています。履修希望者は、教職課程ガイダンスに出席し、慶應義塾大学における教員養成について十分理解した上で、教職課程を履修してください。また、ガイダンスの日程・場所・時間や教職課程諸行事については、「教職課程掲示板」(A 館 1 階インフォメーションロビー) に適宜掲示しますので、確認してください。

6-2. AUD 科目履修と一級建築士受験資格

2009 年度以降入学者で、学部卒業時に学歴要件を満たしていない学生は、指定された科目の中から各項目における必要単位数を満たし、合計 40~60 単位を修得した場合は学歴要件を満たすことができます。学部卒業時に学歴要件をすでに満たしている学生は、大学院においては実務要件を充たす指定科目を履修すると大学院での就学期間を一級建築士の免許登録のための実務経験 (1 年または 2 年) とみなすことができます。ただし学歴要件と実務要件を同時期に満たすことはできません。

実務経験の充足は建築士免許の登録要件へ変更になるため、学歴要件を充たした者は、実務要件充足以前でも一級建築士試験を受験することが可能です。合格した場合は、2~4 年間の実務経験の後、一級建築士の免許登録ができます。

指定科目に該当する開講科目一覧、建築士試験別指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数は 4 月上旬に掲載しますので、確認してください。詳細は別途説明会 (ガイダンス) を行います。日時、場所は keio.jp ポータルサイトにて周知します。

塾生サイト「科目履修と一級建築士受験資格」:

<https://www.students.keio.ac.jp/sfc/gsmg/class/certification/aud-guide.html>

7. 教員を訪ねる場合 (オフィスアワー)

専任教員は、週に一度学生のための時間帯を設けて、個人研究室で学生の質問や個人的な指導、相談にあたります。「教員プロフィール」に掲載されている各教員のオフィスアワーを参考に気軽に訪ねてください。(事前にメールでアポイントメントを取ることが望ましいです。)

SFC 公式ウェブサイト「教員プロフィール」 http://vu.sfc.keio.ac.jp/faculty_profile/

8. 建物の名称

SFC 内の建物はギリシャ文字で表記されています。大学院生を対象とした講義は τ (タウ) 館 (大学院棟) で行われることが主ですが、その他の建物でも講義が実施されます。詳細は、巻末の SFC マップを参照してください。

9. 裁判員制度候補者に選定された場合の取り扱い

慶應義塾では、いわゆる「公欠」の制度はありません。裁判員候補者に選定され、授業の出欠に迷う場合は、学事担当へご相談ください。なお、欠席が認められない場合がありますので、ご注意ください。